

指導と評価の年間計画（案）

教科(科目)	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
体育	1/3	1年	(出版)	××××× (出版)

到達目標【学習指導要領】	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。			
到達目標に向けての具体的な取組	自己の能力に応じて剣道の技能を高め、相手の動きに応じた攻防を展開して練習や試合ができるようにする。伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、練習や試合ができるようにするとともに、勝敗に対して公正な態度がとれるようにする。また、禁止技を用いないなど安全に留意して練習や試合ができるようにする。さらに、自己の能力に応じた技を習得するための計画的な練習の仕方や試合の仕方を工夫することができるようにする。			
	【指導上の留意点】	運動への関心・意欲・態度 ・自分に適した技を習得する喜びや競い合う楽しさを味わおうとしている。礼儀作法を重んじて相手を尊重し、自らを律する態度をとることができる。用具や服装、練習場などの安全確認ができる。禁止技を用いないなど、安全に留意して練習や試合ができ、勝敗や結果を受け入れることができる。	運動についての思考・判断 ・自分の能力に応じた得意技を身に付けるため、練習や試合を工夫している。試合では、個人・団体形式などを踏まえて、判定や審判の仕方を工夫することができる。仲間の体や心の状態に気付き、良いところと修正が必要などところを判断する。	運動の技能 ・対人的技能との関連を図って基本動作を身に付けることができる。相手の動きや技に対応した攻防を展開する中で、得意技を出すことができる。技能の程度に応じた試合や審判を行うことができる。

月	進度(単元・章・項)	指導内容(項目/活動)	評価方法	評価のポイント
4	・オリエンテーション 活動目標・年間計画と授業のすすめ方を説明する。 ・礼法(立ち礼・座礼) 構え(竹刀の握り方) 面タオルの付け方を説明する。 ・構え(中段) 足さばきの基本的動作を説明する。	・防具等の準備や授業のすすめ方を理解する。 ・剣道での礼法(立位から座位への方法等)と竹刀の握り方(手の内)や面タオルの付け方を知る。 ・攻防における中段の構えの有効性と足さばきの基本的動作を知る。こてをつけて手の内を理解するとともにこてに慣れること。	・受講状況観察 ・受講状況観察 ・受講状況観察	・関心・意欲・態度 知識・理解 ・関心・意欲・態度 知識・理解 ・運動の技能 知識・理解
5	・構え(中段)から素振りの基本的動作を説明する。 ・素振り(上下・斜め・跳躍)を足さばきとあわせての動きを説明する。	・目付を理解することと竹刀と左手が正中線を通すような素振りを知る ・前進、後退(1歩づつ)の足さばきにあわせて、素振りができるよう体全体と竹刀を振るタイミングを理解する。	・受講状況観察 ・受講状況観察	・運動の技能 知識・理解 ・運動の技能 知識・理解
6	・正面打ち(打ち込み)の素振りから「気・剣・体一致」のタイミングを説明し、切り返して胴打ち(胴、たれを着けて)で有効打突の感覚をつかませる。 ・復習とテスト(素振り・切り返して胴打ち)にむけて4人組での練習を通じて互いに教授しあい高めあえるように説明する。	・「面」のかけ声とともに前進、後退、前進で右足に体重がかかる打ち込みを理解する。相手の面を受け止めて切り返して面を打つことで有効打突を理解する。 ・練習を通じて互いに高めあう。	・受講状況観察 自己評価表 ・受講状況観察 相互評価表	・関心・意欲・態度 運動の技能 思考・判断 ・関心・意欲・態度 運動の技能 思考・判断
7	・素振り・切り返して胴打ちのテスト		・実技テスト	・運動の技能
8				
9	・1学期の復習と2学期の活動計画を説明する(切り返し練習) 面(防具)の付け方を説明する。 ・「切り返し」の練習方法を説明する(足さばきと素振りをあわせて) ・2人組で「切り返し」の正面打ちから体当たり、左右面(送り足で前進5後進4)の方法を説明する。 ・2人組で「切り返し」の後半と呼吸法を含めて2回くり返して打ち込みまでの方法を説明する。	・1学期の復習を行い基本の確認と2学期の計画のすすめ方を理解する。面(防具)の付け方を理解する。 ・「切り返し」の練習方法を相手なしで行い、基本の足さばきと素振りの仕方を理解する。 ・相手に実際に打突と声をかけながら「切り返し」の正面打ちから体当たり、左右面の方法を理解する。 ・相手に実際に打突と声をかけながら、呼吸法を含めた「切り返し」の最後までの方法を理解する。	・受講状況観察 ・受講状況観察 ・受講状況観察 自己評価表 ・受講状況観察 相互評価表	・知識・理解 ・知識・理解 運動の技能 ・関心・意欲・態度 運動の技能 思考・判断 ・関心・意欲・態度 運動の技能 思考・判断
10	・2人組で「切り返し」と「面抜き胴」の約束練習の方法を説明する。 ・「切り返し」と約束練習の「こて・面2段打ち」の方法とこてに意識をつけてすかさず面を打ち込む技を説明する。 地稽古を通じて実践方法や攻防の仕方を説明する。 ・約束練習の「面抜き胴・こて面2段打ち」の反復練習と地稽古で技能の向上が図れることを説明する。	・練習効果があがるような「切り返し」と約束練習の「面抜き胴」で1本につながる技を理解する。 ・面の動作時に胴に隙ができることを理解する 約束練習「こて・面2段打ち」で、こてに意識をつけさせてすかさず面を打ち込むことを理解する。	・受講状況観察 自己評価表	・関心・意欲・態度 知識・理解 運動の技能 思考・判断
11	・約束練習と地稽古で「残心」の必要を説明する。 ・面抜き胴、こて面2段打ち、こて面胴3段打ち、こて抜き面の約束練習と地稽古の仕方を説明する。 ・復習とテスト(切り返し・地稽古)にむけて4人組での練習を通じて互いに教授しあい高めあえるように説明する。	・約束練習の反復練習と地稽古で技能の向上と「残心」の必要性を理解する。 ・相手の攻撃の際にできる隙や攻防の切り返し時にできる隙をねらうことを知る。かつ連続的に行うことで「残心」の重要性を知る。 ・練習を通じて互いに高めあうことを理解する。	・受講状況観察 自己評価表 ・受講状況観察 相互評価表	・関心・意欲・態度 知識・理解 運動の技能 思考・判断 ・関心・意欲・態度 運動の技能 思考・判断
1	・切り返し、地稽古テスト		・実技テスト	・運動の技能
2	・約束練習「面すりあげ面、面返し胴」で応じ技の基本と地稽古の反復練習で試合につながることを説明する。	・応じ技の基本と地稽古の反復練習で試合につながることを理解する。	・受講状況観察	・関心・意欲・態度 知識・理解 運動の技能
3	・4人組で地稽古、試合を通じて試合の運営と審判法の仕方を説明する。 ・4人組での試合を通じて「1本」を求め、取れたときの喜びを実感させる。	・地稽古・試合(テスト)を通じて互いに高めあうことを理解する。	・受講状況観察 相互評価表 実技テスト	・関心・意欲・態度 知識・理解 運動の技能 ・関心・意欲・態度 知識・理解 運動の技能